

(臨床研究に関する公開情報)

相模原病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] ゴマアレルギーを誘発するアレルゲンタンパク質の探索

[研究責任者] 国立病院機構相模原病院臨床研究センター 海老澤元宏

[研究の背景]

小児期の食物アレルギーのアレルゲンである卵や牛乳のアレルギーはその多くは自然に治ります。一方、ゴマを含む種子類のアレルギーは自然に治ることはまれで、生涯アレルギーを持ったまま生活することになります。こうした中で、ゴマアレルギーの原因となるアレルゲンは2Sアルブミン、11Sグロブリン、7Sグロブリン、オレオシン等のタンパク質が明らかになっています。

[研究の目的]

ゴマアレルギー患者のアレルゲンを特定することにより、ゴマアレルギー患者に対する経口免疫療法をはじめとして、これからの効果的な治療に活かすことを目的にしています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

ゴマアレルギーの患者さんで、2010年1月1日から2020年12月31日の間に当院小児科を受診した20歳以下の方

●研究期間：院長承認後から2027年12月31日

●利用する検体、カルテ情報

検体：血清（診療または他の研究で使用した余りの検体で保管することに以前同意をいただいたもの）

カルテ情報：年齢、アレルギー合併、ゴマによる症状の詳細、アレルギー検査データ

●検体や情報の管理

血清および臨床情報は、検体を測定する機関である大阪総合体育大学・奈良女子大学に提供され、解析されます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：相模原病院臨床研究センター センター長 海老

澤元宏

●その他の共同研究機関：大阪総合体育大学吉田バイオラボ 特任教授 吉田元信、奈良女子大学生活環境学部食物栄養学科 教授 小倉裕範

[個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である大阪総合体育大学（吉田元信）が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構相模原病院臨床研究センター

センター長 海老澤元宏

電話 042-742-8311（代表） FAX 042-742-5314